

平成28年度 吉村市政初の予算審議

平成28年3月3日、4日に平成28年度大阪市予算に対する代表質問が行われました。大阪維新の会からは、角谷委員と出雲委員が登壇し、吉村市長に対して多岐に渡る質問を行いました。



“注目” 「子どもの貧困対策について」

- 角谷:** 大阪は子どもの貧困率が沖縄県に続いて全国2位となっている。今後どのように対策を進めていくのか。
- 市長:** 5歳児・小学校5年生・中学校2年生の合計約6万人に対してこれまでにない規模で調査を行う。調査を元に計画を策定し、目標とする数値を設定し、施策を推進する。

【その他の主な質疑項目】

- ・ 中学校給食について・病院再編計画について
- ・ 大阪の成長を支える鉄道ネットワークについて
- ・ 副首都推進本部について・ICT 施策について など

“注目” 「副首都化の推進について」

- 出雲:** 大都市制度について、行政として市民との意見交換をするというスケジュール感などを伺う。
- 市長:** 本年4月に設置する副首都推進局において、具体的な方策を固め、準備を進め、**本年8月頃を目途に意見交換を開始したい**と考えている。

【その他の主な質疑項目】

- ・ 子育て教育環境の充実について
- ・ 防災体制のさらなる充実・耐震対策の推進について
- ・ 市民の暮らしを守る福祉などの向上について など

財政総務委員会まとめ

財政や総務に関する市政全般の幅広い分野を所管する当委員会では、財政状況の確認を行いました。平成28年度予算の通常収支不足は153億円と未だ厳しい状況にあります。橋下改革で400億円近く改善してきました。現状把握として、借金過多、税制改正の収入減要因、将来のインフラ整備などの支出増要因など、厳しい現実を目をそらさず追求しました。また、お金を作るための方策として、**未利用地の売却・定期借地、吉村市政の新たな改革などを提言**しました。さらには、住民サービスの質向上のため、教育も含めた中身のあるICT戦略、ビッグデータの活用、見守り防犯カメラの設置、地活協の中間支援組織の在り方見直し、マイナンバーの適正運用、西成特区構想推進などを提言しました。

今後も無駄遣いを許さず、さらなる住民サービスの拡充を目指します！



大内けいじ委員 (此花区) 丹野壮治委員長 (阿倍野区) 杉村幸太郎委員 (平野区) 藤田あきら副委員長 (港区) 高見りょう委員 (東住吉区) 宮脇のぞみ委員 (東淀川区) 岡田やすとも委員 (西成区)

教育子ども委員会まとめ

教育委員会・子ども青少年局を所管する当委員会では、子育て教育分野に関する施策について議論を深めました。平成31年2学期より全中学校で実施予定の**学校調理方式による給食**について、また今年じゅうに設置が予定されている**幼児教育センター**について、進め方や留意点などを議論しました。**待機児童解消問題**では、特区制度を活用した都市公園内への保育所設置の検討、保育士の業務軽減を目的とした市内全ての民間保育所・認定こども園・地域型保育事業所におけるICT整備の推進、使える英語教育の実現に向けたネイティブスピーカーの学校配置など、幅広く質疑や提案を行いました。

今後も教育・子育て環境の向上を目指して尽力します！



広田かずみ委員長 (福島区) 角谷庄一委員 (生野区) 出雲輝英委員 (大正区) 上田ともたか副委員長 (住吉区) 佐々木りえ委員 (住之江区) 藤岡寛和委員 (西成区)

